

愛媛大学 教育・学生支援機構 英語教育センター主催

## 第8回愛媛大学英语教育改革セミナー

### 「大学共通教育における英語教育プログラム再考」

平成 19 年度に開始した、愛媛大学における「明確な到達目標に基づいた英語教育カリキュラム」は 3 年目を終えようとしています。この取り組みでは、大学英语教育において、学生や教員が何を必要と考え、何を学びたいと考えているかに基づいて、学習の目標を明確にし、それに向けた教育カリキュラムを作ることが目的でした。

この到達目標の作成にあたって、愛媛大学では、学生のニーズや現状に基づいた独自の Can-Do リスト(英語で何ができるかを文章化したリスト)を開発し、さらに Can-Do リストに基づいた教科書づくりなどをすすめてきました。

今回の英語教育改革セミナーでは、まず講演において、特色のある英語教育で注目されている国際基督教大学(ICU)の英語教育課程(ELP)に関する講演を通して、English for academic purpose に基づく英語教育プログラムの内容を学び、大学の共通教育における英語教育のあり方についてその目的を再考したいと考えています。

次に、愛媛大学での取り組みを報告いたします。先に述べました愛媛大学独自の Can-Do リスト開発過程の報告とともに、一昨年より実施を開始しました外部統一試験(GTEC for STUDENTS)の結果報告も行います。そして、両者の成果を併せた、今後の英語教育改革への取り組みの方向性について報告し、さらに来場された皆様との議論の機会を持つことができればと思います。

年度末のお忙しい時期と重なりますが、一人でも多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。そして、本セミナーが皆様の日々の教育実践の振り返りや情報提供の機会として、少しでも役立つことを願っています。

愛媛大学英语教育センター長  
大賀 水田生

愛媛大学 教育・学生支援機構 英語教育センター主催

## 第8回愛媛大学英语教育改革セミナー

# 「大学共通教育における英語教育プログラム再考」

目的：特色のある英語教育で注目されている国際基督教大学（ICU）の英語教育課程（ELP）に関する講演，及び，愛媛大学の英語教育における取り組みの紹介を通し，新たな英語教育改革の可能性について検討する。

日時：平成22年3月19日（金）13:20 - 17:10

対象：本学教職員，英語教員，学部生，院生，および一般

主催：愛媛大学 教育・学生支援機構 英語教育センター

後援：愛媛県教育委員会，松山市教育委員会（申請中）

会場：愛媛大学城北キャンパス 愛大ミュージアム1階

アクティブ・ラーニングスペース2

### [プログラム]

〈受付〉13:00-

【開会の挨拶】13:20-13:30 大賀 水田生（愛媛大学英语教育センター長）

【講演】13:30-15:00

「ICUにおける英語教育」 富山真知子 先生（国際基督教大学）

《休憩》15:00-15:10

【報告】15:10-15:40

「愛媛大学における英語教育」 松本広幸（愛媛大学英语教育センター）

【討議】15:40-17:00

フロアを交えた質疑応答，ディスカッション

【閉会の挨拶】17:00-17:10 大賀 水田生（愛媛大学英语教育センター長）

司会：中山 晃（愛媛大学英语教育センター）

\*定員は、50名までとなっております。なお、参加費は無料です。

### 【問い合わせ及び申し込み先】

愛媛大学英语教育センター

TEL/FAX: 089-927-8340 E-mail: eec\_jimu@eec.ehime-u.ac.jp

ホームページ: <http://web.eec.ehime-u.ac.jp/>

申し込みの際には、お名前、ご所属、ご住所、お電話番号、懇親会のご出欠についてお知らせください。（懇親会は当日18時からを予定しております。会費5000円）

## 【ゲスト講師のプロフィール】

**富山真知子 先生**

**国際基督教大学 教養学部 言語教育分野教授, 大学院教育学研究科長**

### 略歴

B.A. (ICU), M.A. (UCLA), Ph.D. (Pennsylvania State)

専門：英語教育・SLA

研究分野：language attrition

### 所属学会

大学英語教育学会（JACET）他

### 主要な研究業績

Tomiyama, M. (2000). Second language attrition: A longitudinal case study. *Applied Linguistics*, 21(3), 304-332.

富山真知子（編）『ICUの英語教育—リベラル・アーツの理念のもとに』研究社（2006/04）

Tomiyama, M. (2009). Age and proficiency in L2 attrition: Data from two siblings. *Applied Linguistics*, 30(2), 253-275.

### <講演概要: 富山先生より一言>

国際基督教大学(ICU)は開学以来、リベラルアーツ教育の枠組みの中での英語教育という理念を掲げ、実践を続けて来た。English Language Program (ELP)と呼ばれる英語教育課程はICUの日・英バイリンガル教育を可能にさせる言語教育の役割と同時に、英語で、学問をする上で必要とされる基礎的能力を育成するという役割も果たしている。本講演では、ICUの考えるリベラルアーツの意味、ELPの目的やカリキュラム、運営のあらましを紹介し、英語教育の目標が大学全体の教育理念と連動してこそ、真の意味のあるものとなることを述べる。